

編集にたずさわった人たち

代表 澤井 陽介 大妻女子大学教授

顧問 北 俊夫 前国土館大学教授

加藤 寿朗 島根大学教授

唐木 清志 筑波大学教授

木村 博一 広島大学教授

秋吉かおり 東京都江戸川区立西葛西小学校副校長
阿久津 理 富山県射水市立作道小学校教頭
浅野 正道 東京都小金井市立小金井第一小学校校長
石中 伸弥 広島県広島市立矢賀小学校教諭
井手 司 福岡教育大学附属福岡小学校教諭
梅澤 真一 筑波大学附属小学校教諭
江間 史明 山形大学教授
及川 恒平 埼玉県ふじみ野市立東原小学校教諭
大木 直之 東京都江東区立毛利小学校副校長
太田 満 奈良教育大学准教授
岡崎 誠司 富山大学教授
岡田 梓 京都府京都市立大宮小学校教諭
岡田 英三 くらしき作陽大学教授
岡田 泰孝 前お茶の水女子大学附属小学校教諭
岡本 典久 広島県広島市立伴小学校教諭
小澤 智史 東京都世田谷区立城山小学校教諭
笠原 駿 東京都小金井市立小金井第一小学校教諭
粕谷 昌良 筑波大学附属小学校教諭
川口 広美 広島大学准教授
河村 明伸 広島県広島市立神崎小学校教諭
菊次 賢 福岡県那珂川市立安德小学校教諭
清末 泰成 宮城県白石市立白石第一小学校教諭
桐谷 正信 埼玉大学教授
久保 雅英 大阪府大阪市立聖和小学校校長
黒田 拓志 香川県高松市立川東小学校教頭
小甲 圭悟 東京都北区立王子小学校教諭
小国 喜弘 東京大学教授
兒玉 修 九州保健福祉大学学長
小林 達郎 石川県津幡町立井上小学校教諭
兎山 力 岡山県岡山市立石井小学校教諭
今野日出晴 岩手大学教授
坂井 清隆 福岡教育大学准教授
佐久間敦史 大阪教育大学准教授
櫻井 正義 東京都東久留米市立本村小学校教諭
佐々木英明 北海道札幌市立米里小学校教諭

佐藤 修 宮城県登米市立米岡小学校教諭
佐藤 拓郎 宮城教育大学附属小学校教頭
佐藤 友信 東京都江東区立東陽小学校校長
佐土原智彰 熊本県熊本市立出水小学校校長
沢畑 慶介 東京都板橋区立常盤台小学校副校長
柴田 華子 大阪府大阪市立豊崎小学校教諭
新貝 朗 東京都江東区立第二辰巳小学校校長
須本 良夫 岐阜大学教授
田内 利美 東京都新宿区立四谷小学校副校長
武部 浩和 大阪総合保育大学教授
谷口 将紀 東京大学教授
多和田雅保 横浜国立大学教授
千守 泰貴 静岡県東伊豆町立稲取小学校教諭
忠谷 嘉人 京都府京都市立葵小学校教頭
月岡 正明 青山学院大学特任教授
豊嶋 啓司 福岡教育大学教授
中澤 静男 奈良教育大学教授
中田 正弘 白百合女子大学教授
中山 京子 帝京大学教授
野村 豊 前金沢大学特任教授
芳賀 航 宮城県仙台市立六郷小学校教諭
柱谷 元紀 京都府京都市立安井小学校教諭
濱本しおり 大阪府大阪市立野田小学校教諭
樋口のぞみ 東京都北区立王子小学校教諭
廣岡 正昭 園田学園女子大学講師
藤井 辰典 大阪府松原市立松原中学校教諭
藤井 護 熊本県熊本市立向山小学校教諭
藤瀬 泰司 熊本大学教授
藤原 一弘 愛媛大学准教授
船津 需遥 埼玉県さいたま市立つばさ小学校教諭
星野 勇悟 大阪府大東市立四条小学校教諭
前田 賢次 北海道教育大学札幌校准教授
松本 康 信州大学教授
三浦 秋司 宮城教育大学附属小学校教諭
溝口 和宏 鹿児島大学教授

宮崎 沙織 群馬大学准教授
村井 政一 石川県金沢市立西南部小学校教諭
安武 将広 岡山県岡山市立吉備小学校教諭
山田 一人 熊本県熊本市立向山小学校教諭
山田 透 北海道札幌市立信濃小学校教諭
山田 秀和 岡山大学教授
山家 哲雄 東京都世田谷区立烏山北小学校教諭
横田 富信 東京都世田谷区立代沢小学校教諭
吉井 大輔 埼玉県鳩山町立今宿小学校教諭
吉岡 泰志 東京都世田谷区立経堂小学校教諭
吉藤 玲子 帝京平成大学教授
吉水 裕也 兵庫教育大学理事・副学長
和田 倫寛 島根県松江市立竹矢小学校教諭

● ICTの活用に関する校閲

朝倉 一民 北海道札幌市立発寒南小学校教頭
稲垣 忠 東北学院大学教授
大山 喜裕 茨城県つくば市立学園の森義務教育学校教諭
小柳和喜雄 関西大学教授
寺澤 孝文 岡山大学教授
毛利 靖 一般財団法人日本視覚教育協会首席研究員
森本 康彦 東京学芸大学教授

● 特別支援に関する校閲

田中 良広 帝京平成大学教授

● バリアフリーに関する校閲

徳田 克己 筑波大学教授
水野 智美 筑波大学准教授

ほか4名

東京書籍株式会社

● 色彩デザインに関する編集協力

色覚問題研究グループぱすてる

令和6年度 小学校

内容解説資料

新編 新しい社会

東京書籍



この資料は、令和6年度小学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

Lentrancelは、日本国、米国、及びその他の国における株式会社Lentranceの登録商標または商標です。



パンフ+αの情報を特設サイトで! Q&Aは随時更新!
または、東京書籍 小学校社会
ご不明点にお答えする「お問い合わせフォーム」をご用意。よくお問い合わせいただく内容は、質問と回答を「いつでもQ&A」コーナーに掲載。随時更新します。その他、動画などwebのみのコンテンツを多数掲載。是非ご覧下さい!

東京書籍

本社 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel:03-5390-7365(社会編集部) Fax:03-5390-6015
支社・出張所 札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7581 名古屋 052-950-2260
大阪 06-6397-1350 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770 那覇 098-834-8084
ホームページ https://www.tokyo-shoseki.co.jp 教育情報サイト 東書Eネット https://ten.tokyo-shoseki.co.jp

New 新編 新しい社会 の注目ポイント

New 「一人一台端末」に対応した
『新編 新しい社会』

QRコンテンツ250点以上
の収録

アクセスはこちらから



QR
本資料内で
QRコンテンツ
を紹介している
箇所にはQRの
マークを示して
います。

→ 本資料 P.10-13

豊富なQRコンテンツで、学習の質をさらに高めます。
→ 本資料 P.2-3、10-13、32-33ほか、さまざまな
ページでご紹介しています。

New 教科書の基本的なつくりを示した
「この教科書のつくりを
見てみよう」を各学年に新設 → 本資料 P.16-17

「問題解決的な学習」を促すさまざまな手立て

- 「社会的な見方・考え方」……→ 本資料P.4-5
- 「まなびのポイント」……→ 本資料P.6-7
- 「学習の進め方」……→ 本資料P.18-19

「主体的・対話的で深い学び」
を実現します！



もくじ CONTENTS

編集の基本方針・代表者のことば…… 1

特色①
「資質・能力を確実に育てる教科書」…… 2

特色②
「子供の学びを広げる教科書」…… 10

特色③
「授業づくりをサポートする教科書」…… 16

学習の「見通し」と「振り返り」を重視…… 22

質の高い資料をダイナミックに提示・
学習をナビゲートするキャラクター…… 24

柔軟な扱いができる豊富な教材…… 26

今日的課題に関する内容が充実…… 28

教科共通のQRコンテンツ…… 32

使いやすさへの配慮…… 34

● 3年の特色…… 36

● 4年の特色…… 37

● 5年の特色…… 38

● 6年の特色…… 40

学習者用デジタル教科書のご案内…… 42

指導者用デジタルブックのご案内・
教師用指導書…… 44

観点別主な教材一覧…… 46

教科書に登場する主な事例地…… 48

『新編 新しい社会』×ICTを活用して深める新しい学び

『新編 新しい社会』は、「GIGAスクール構想」に対応し、ICTを活用して
社会科の学びを深めるさまざまな手立てをご用意しました。

教科書収録の
QRコンテンツ
→ 本資料 P.10-13



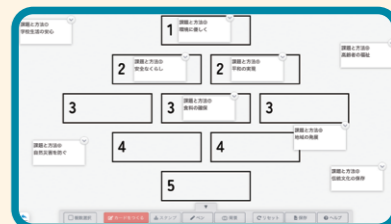
QR ● 見てみよう まちの様子

「問題解決的な学習」の中で
活用することができます！

教科書の見開きごとに、学習に
役立つ動画やワークシートなど、
全学年のべ250点以上のQRコ
ンテンツを収録しました。



QR ● 札幌市雪対策室の人に
インタビュー



QR ● ダイヤモンドランキングで
考えよう

新しい 学びへ

学習者用
デジタル教科書
→ 本資料 P.42-43

「一人一台端末」で活用でき、
「個別最適な学び」に寄与します！



画面(イメージ)

主な機能

- ・ 拡大
- ・ 書き込み機能
- ・ 外部リンク機能
- ・ 2画面表示
- ・ 特別支援への対応

など

教師用指導書同梱の
指導者用デジタルブック
→ 本資料 P.44-45

充実した資料と機能で
授業を支援します！



画面(イメージ)

主な機能

- ・ 「My教科書エディタ」
- ・ 「授業支援モード」
- ・ 豊富な指導者用オリジナルコンテンツ

など

共通ビューア
「Lentrance Reader」
を使用

新編 新しい社会 編集の基本方針



代表者のことば

澤井 陽介

特色 1

「資質・能力を確かに育てる教科書」

- 学習指導要領の社会科の教科目標にある「公民としての資質・能力」を確かに育てます。
- 「問題解決的な学習」をわかりやすく進めていくことができます。
- 「見方・考え方」を働かせて学習を進めることができます。

→ 本資料 P.2

特色 2

「子供の学びを広げる教科書」

- 多様なQRコンテンツを収録し、子供の学びを広げます。
- 学習に効果的な写真や挿絵などの資料を豊富に掲載しています。
- 実社会に生きる人々の姿を随所に掲載しています。

→ 本資料 P.10

特色 3

「授業づくりをサポートする教科書」

- 教科書の構造や問題解決的な学習の流れをわかりやすく示し、授業づくりをサポートします。
- 重要な用語や資料を明確に示し、学習の基礎・基本が定着します。
- 学習内容だけでなく学習方法についても丁寧に示しています。

→ 本資料 P.16



3年、4年、5年上、5年下、6年政治・国際編、6年歴史編の全6冊の構成とし、6年の2冊は4月に同時供給します。

折込を開いて
改訂のポイントをチェック

社会科の授業を一層充実させるために

学習指導要領(2017年告示)が全面実施されて3年が経ちました。「公民としての資質・能力の基礎」を「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理して再スタートした社会科です。「見方・考え方」を働かせること、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指すことなど、各教科等に共通する方向も描かれました。その一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、各自治体において研修会等が思うように実施できない時期もありました。学習指導要領の趣旨やその実現を目指す具体策は、未だ各学校に十分に浸透しているとは言い難い状況でしょう。

そこで、令和6年度用の新教科書『新編 新しい社会』は、その編集過程において、全国の先生方の社会科の授業づくりをサポートしたいという願いを込め、あらためて学習指導要領が求める授業改善の方向に沿って内容や紙面構成を検討しました。学習指導要領改訂のキーワードをあれもこれもと盛り込むのではなく、構造化して整理し、単元にバランスよく位置付けるようにしました。本書を活用して学習を進めることにより、子供たちに三つの柱に沿った資質・能力がバランスよく確かに育つことを目指しています。

社会科は、問題解決的な学習を通して社会認識を深め、よりよい未来社会の実現を目指す子供たちを育てる重要な役割を担っています。また、新たに示された学習評価の観点「主体的に学習に取り組む態度」では、子供自身が自分の学びをつくっていきこうとする態度の育成が求められ、中央教育審議会答申では「個別最適な学び」が提唱されるなど、教育の在り方が見直されようとしています。本書においても、「一人一台端末」の普及を踏まえ、教科書紙面上から読み込める「QRコンテンツ」を充実させるなど、新しい教育の方向を試行しています。教科書は法令上「教科の主たる教材」とされており「教材研究」の対象です。これから求められる授業をどのように実現し、未来に生きる子供たちをどのように育てていくことができるか、本書を活用して教材研究を進めていただくことを願います。

澤井 陽介 (さわい・ようすけ)

東京都に生まれる。東京都立小学校教員、東京都八王子市、町田市等で指導主事、統括指導主事、文部科学省初等中等教育局教育課程課で教科調査官、同局視学官、国士館大学教授を経て、現在大妻女子大学教授。

【近著】『授業の見方』『教師の学び方』『授業づくりの設計図』『できる評価・続けられる評価』(東洋館出版)、『学習指導要領社会科の授業づくり』『見方・考え方を働かせて学ぶ社会科授業モデル』『「本当に知りたい」社会科授業づくりのコツ』(明治図書)など。

特色 1 資質・能力を確かに育てる

特色 2 子供の学びを広げる

特色 3 授業づくりをサポートする

学びを広げるその他の特色

デジタル関連商品・指導書